

新環境総合計画の目標の改定について

循環型社会推進計画の策定に伴い、「大阪 21 世紀の新環境総合計画」の目標を改定しました。

資源循環型社会の構築

～ 限りある天然資源を枯渇させないために ～

目標:2020 年

- **資源の循環をさらに促進する。**
 - 【一般廃棄物】リサイクル率を倍増する。(2008 年度比)
 - 【産業廃棄物】リサイクル等の推進により、最終処分量を 48 万トン以下とする。
- **リサイクル社会を実現するための府民行動を拡大する。**
 - リサイクル製品を購入している府民の割合を倍増する。(2009 年府民アンケート 34.3%)
 - 資源物*を分別している府民の割合を概ね 100%にする。(2009 年府民アンケート 89.4%)
* ペットボトルや空き缶、古紙等



目標:2020 年

- **資源の循環をさらに促進する。**
 - 【一般廃棄物】リサイクル等の推進により、最終処分量を 32 万トン以下とする。
 - 【産業廃棄物】リサイクル等の推進により、最終処分量を 37 万トン以下とする。
- **リサイクル社会を実現するための府民行動を拡大する。**
 - リサイクル製品を購入している府民の割合を倍増する。(2009 年府民アンケート 34.3%)
 - 資源物*を分別している府民の割合を概ね 100%にする。(2009 年府民アンケート 89.4%)
* ペットボトルや空き缶、古紙等